

- 問1 16世紀末、豊臣秀吉は二度にわたって朝鮮出兵（文禄・慶長の役）を行いました。これに対して朝鮮側で水軍を率いて日本軍の補給路を断つなど、激しい抵抗を見せた将軍は誰ですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
1. マルコ・ポーロ 2. 李舜臣 3. 王安石 4. 鄭成功
- 問2 14世紀頃にイタリアの諸都市から始まり、のちにヨーロッパ各地へ広まった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする動きを何といいますか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 啓蒙思想 4. 産業革命
- 問3 16世紀に南北アメリカ大陸の広大な地域を征服・植民地化し、現地で大規模な銀山を開発して、その銀をヨーロッパやアジアの各地へ運び込むことで世界的な経済の結びつきを強めた国を、次のうちから選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. スペイン 2. イギリス 3. ポルトガル 4. オランダ
- 問4 16世紀にドイツから始まった宗教改革の背景と、その後の影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 山口県公立入試 類似）
1. 教皇の権威がさらに強まり、ヨーロッパ諸国の国王はすべて教皇の支配下に入った。 2. ルターが聖書をドイツ語に翻訳したことで、人々が直接教えを理解できるようになった。 3. カトリック教会がルターの主張を全面的に認め、贖宥状の販売を直ちに中止した。 4. ナポレオンがこの動きを支持したことで、ドイツ全域に自由平等が普及した。
- 問5 16世紀初頭のドイツにおいて、修道士マルティン・ルターはローマ教皇が資金集めのために免罪符（贖宥状）を販売している現状を批判し、信仰のよりどころは教会ではなく聖書にあると主張しました。この一連の動きを何と呼びますか。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 十字軍 4. 産業革命
- 問6 1587年に豊臣秀吉がバテレン追放令を出した際、国内のキリシタン（キリスト教信者）の数は約20万人とされていましたが、その約15年後の1601年には約30万人に達していたという記録があります。このように、法令が出された後も信者数が増加した背景として最も適切なものはどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. 鎖国体制が完成したことで海外との往来が断たれ、国内の既存の信者が外部の影響を受けずに増加したから 2. 南蛮貿易による利益を重視したため、宣教師の活動やキリスト教信仰が実質的に黙認される側面があったから 3. 豊臣秀吉が自らキリスト教に帰依したことで、武士や農民の間で改宗が急速に進んだから 4. バテレン追放令によって宣教師の滞在が法的に公認され、布教活動が以前よりも奨励されるようになったから
- 問7 大航海時代の植民地支配の歴史において、南アメリカ大陸の東側に位置する現在のブラジルが、周辺の国々と異なりポルトガルの領土となったことによる今日の影響として、最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
1. 南アメリカ大陸のすべての国がポルトガル語を公用語として統一するきっかけとなった 2. ブラジルは現在もポルトガルの自治領として、ヨーロッパ連合（EU）に加盟している 3. インカ帝国の文化を受け継いだポルトガル語による独自の伝統芸能が、国全土に広がっている 4. 周囲の多くの国ではスペイン語が話されているが、ブラジルではポルトガル語が公用語となっている
- 問8 1575年に起きた長篠の戦いの歴史的背景や結果に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 徳川家康率いる東軍と石田三成率いる西軍が激突し、その後の江戸幕府成立へとつながる決定的な戦いとなった。 2. 織田信長が今川義元を田楽狭間で奇襲により討ち取り、尾張国から全国へ勢力を広げるきっかけとなった。 3. 羽柴秀吉が織田信長の後継者争いにおいて柴田勝家を破り、天下人としての地位を不動のものとした。 4. 織田信長が大量の鉄砲を組織的に使用して勝利し、戦国時代の戦闘形態が騎馬中心から足軽・鉄砲中心へと変化する転換点となった。
- 問9 豊臣秀吉が実施した太閤検地によって、それまでの複雑な土地の権利関係が整理されました。この調査が社会に与えた影響や内容の説明として、最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 一つの土地に対して一人の耕作者を検地帳に登録し、農民から確実に年貢を徴収する仕組みを整えた。 2. 全国の農民から武器を没収することで、農民が反乱を起こすことを防ぎ、身分の固定化を図った。 3. 有力な貴族や寺社が所有する荘園の権利を保護し、中世以来の支配体系をより強固なものにした。 4. 土地の所有者に地券を交付し、土地の売買を自由化するとともに、地価の3%を現金で納めさせた。
- 問10 安土城を拠点に天下統一を推し進めた人物は、経済を活性化させるために、商人の座による独占権を廃止し、市場での税を免除するなどの政策を行いました。この政策を何と呼びますか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
1. 刀狩 2. 太閤検地 3. 公地公民 4. 楽市・楽座
- 問11 16世紀後半から17世紀初めにかけて行われた南蛮貿易において、日本は中国産の生糸やヨーロッパから伝わった火縄銃などを輸入していました。これらの輸入品の代金として、日本から大量に輸出された主要な鉱産物として正しいものを選びなさい。（2021年 山口県公立入試 類似）
1. 金 2. 銀 3. 鉄 4. 銅
- 問12 16世紀後半から17世紀初頭にかけて、豊臣秀吉は全国で「6尺3寸を1間（けん）」、「300歩を1反（たん）」とする共通の測量基準を導入し、土地の生産性を米の収穫量に換算する「石高（いしだか）」を定めました。このような一連の政策が、当時の社会に与えた影響として最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 古代の班田収授の法に基づき、戸籍に登録されたすべての人々に、身分に応じて一定の面積の口分田が再配分されるようになった。 2. 土地の価格に応じて税を現金で納める制度へと移行し、政府の安定した税収を確保するために全国で大規模な土地調査が行われた。 3. 複雑だった荘園領主などの権利関係が整理され、土地を実際に耕している農民が検地帳に登録されて年貢を納める仕組みが確立した。 4. 江戸幕府が成立する直前の出来事として、徳川家康が各藩の軍勢力を削ぐために、大名の領地における収穫量の報告を義務づけた。
- 問13 豊臣秀吉が役人を派遣して田畑の広さや等級を測らせ、その結果を記録して村ごとに作成させた、土地台帳の名称を何といいますか。（2023年 奈良県公立入試 類似）
1. 戸籍 2. 検地帳 3. 賦役黄冊 4. 土地台帳
- 問14 安土桃山時代には、姫路城のような壮大な城郭が築かれ、その内部は金箔をふんだんに使った豪華な障壁画で飾られました。このような、戦国大名や豪商の権力と富を背景とした、豪華で力強い特色を持つ文化を何と呼びますか。（2024年 茨城県公立入試 類似）
1. 国風文化 2. 桃山文化 3. 天平文化 4. 化政文化

答え合わせ・解説

問1	答え 2 李舜臣	豊臣秀吉による朝鮮出兵に対し、朝鮮の將軍である李舜臣は、亀甲船（きっこうせん）と呼ばれる装甲船などを駆使して水軍を指揮しました。この組織的な反撃によって、日本軍は海上での補給路を脅かされ、陸上での進撃が困難になるなど大きな苦戦を強いられました。
問2	答え 1 ルネサンス	14世紀のイタリアでは、それまでの神を中心とした中世の考え方に対し、人間中心の生き方を目指す動きが生まれました。この動きは「文芸復興」とも訳され、古代ギリシャやローマの古典文化を理想として、絵画・彫刻・文学など多岐にわたる分野で新しい文化が創造されました。
問3	答え 1 スペイン	16世紀の大航海時代において、コロンブスの到達以降にアメリカ大陸の広範囲を支配したのはスペインです。スペインはポトシ銀山などを開発して大量の銀を産出し、これをヨーロッパへ持ち帰って「価格革命」と呼ばれる物価上昇を引き起こしたほか、アジア方面へも運んで香辛料や絹などの購入に使用しました。この動きは、現代に続くグローバルな交易網の先駆けとなりました。
問4	答え 2 ルターが聖書をドイツ語に翻訳したことで、人々が直接教えを理解できるようになった。	ルターは「信仰の根拠は教会ではなく聖書にある」と考え、当時ラテン語で書かれていた聖書をドイツ語に翻訳しました。これにより、一部の聖職者だけでなく一般の人々も聖書を読めるようになり、個人の信仰を重視する新しいキリスト教のあり方が広がりました。
問5	答え 2 宗教改革	カトリック教会の腐敗を批判したルターの行動は、印刷術の普及も手伝ってヨーロッパ全土に大きな影響を与えました。この運動により、キリスト教は伝統的なカトリックと、聖書を重視する新しい勢力に分裂することとなりました。
問6	答え 2 南蛮貿易による利益を重視したため、宣教師の活動やキリスト教信仰が実質的に黙認される側面があったから	豊臣秀吉はバテレン追放令によって宣教師の国外追放を命じ、キリスト教の拡大を警戒しましたが、同時にポルトガルとの南蛮貿易による経済的・軍事的利益を求めています。そのため、貿易を維持するために宣教師の活動を徹底的には排除できず、結果として法令後もキリシタンの数は増加し続け、17世紀初頭にかけて最盛期を迎えることとなりました。
問7	答え 4 周囲の多くの国ではスペイン語が話されているが、ブラジルではポルトガル語が公用語となっている	1494年のトルデシリャス条約により、南アメリカ大陸の東側の一部がポルトガルの勢力圏に入りました。これが現在のブラジルの原型となり、スペインが支配した他の南米諸国がスペイン語を話すのに対し、ブラジルはポルトガル語を公用語とする文化圏を形成しました。
問8	答え 4 織田信長が大量の鉄砲を組織的に使用して勝利し、戦国時代の戦闘形態が騎馬中心から足軽・鉄砲中心へと変化する転換点となった。	長篠の戦いは、単なる領地争いではなく、軍事技術の革新が勝敗を決定づけた重要な出来事です。これ以降、日本の戦いは個人技を重んじる騎馬戦から、鉄砲を備えた足軽集団による組織的な集団戦へと大きく移行していくことになりました。
問9	答え 1 一つの土地に対して一人の耕作者を検地帳に登録し、農民から確実に年貢を徴収する仕組みを整えた。	太閤検地の最大の特徴は「一地一作人」の原則です。それ以前の中世社会では、一つの土地に複数の権利者が重なり合っていました。秀吉は実際に耕作している農民を検地帳に登録し、その農民に年貢を納める義務を負わせました。これにより荘園制度は完全に消滅しました。地券の交付は明治時代の地租改正に関する内容であり、武器の没収は同時期の「刀狩」の説明です。
問10	答え 4 楽市・楽座	織田信長が行った楽市・楽座は、寺社や公家に保護されていた「座」の特権を排除し、誰もが自由に商売を行えるようにした政策です。これにより城下町に多くの商人を集め、流通を活発にすることで、自身の経済力を強化する狙いがありました。
問11	答え 2 銀	戦国時代から安土桃山時代にかけて、日本は世界有数の銀産出国でした。当時、精錬技術の向上により生産量が急増した銀は、中国（明）で貨幣として高い需要があったため、生糸などの高級品を輸入するための重要な決済手段として輸出されました。
問12	答え 3 複雑だった荘園領主などの権利関係が整理され、土地を実際に耕している農民が検地帳に登録されて年貢を納める仕組みが確立した。	豊臣秀吉が行った太閤検地は、それまでの複雑な荘園制を完全に崩壊させる役割を果たしました。一つの土地に対して複数の権利者がいた状態を解消し、実際に耕作している農民を「一地一作人」の原則で検地帳に登録しました。これにより、農民が直接、石高に応じた年貢を領主へ納める近世的な支配体制が築かれ、兵農分離も促進されることとなりました。
問13	答え 2 検地帳	太閤検地によって作成された公式の記録を「検地帳」と呼びます。ここには田畑の所在、面積、等級（上・中・下・下々）、石高、そして実際に耕作を行う農民の氏名が記載されました。検地帳に名前が載ることは、その土地の耕作権を保証されることでもありましたが、同時に政府に対して年貢を納める公的な義務を負うことも意味していました。
問14	答え 2 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が天下統一を進めた時代、戦国大名や都市の豪商たちの圧倒的な経済力と権力を象徴する形で発展しました。城郭建築や狩野永徳による金碧障壁画などがその代表例です。